

モンゴルと聞いて何を連想するだろうか？ 遊牧民族、日本の大相撲で活躍する白鵬や逸ノ城「民話」「スーホの白い馬」など…。比較的身近な国ではないだけに、憧れも含めた興味を抱いてしまいがちだが「日本に伝わっているモンゴルのイメージは、ほんの断片に過ぎません。逆に日本で育まれたイメージを逆輸入するなど、現代のモンゴルは大きく様変わりしています」と語るのは、人間文化研究機構理事の小長谷有紀さん。来春の新講座「モンゴル遊牧文化いまむかし」で、今も変わらない遊牧民の暮らし、さらに知られざる21世紀のモンゴル社会について解説する。



モンゴルの遊牧文化を通して 自分自身を見直すきっかけに！

モンゴルに留学したのは1979年。「いつまでモンゴルを研究しているの？」と子どもたちに呆れられていますが、いまだに興味が残らない。永遠に終わらないと思うくらいです」と笑う。外見は日本人とそっくりだが、モンゴル人の生活スタイルや考え方は大きく異なる。そのギャップに驚きつつ、新たな発見から興味を覚える。その繰り返しこそ研究者の醍醐味なのだろう。

遊牧と聞くと牧歌的なイメージを抱いてしまいがちだが、小長谷さんは「遊牧はIT産業！」と言い切る。

「遊牧は雨が降って草が育った場所に羊を放つので、他の人より先にいい条件の土地を見つけて出すことが大切です。ここでは情報収集力が不可欠となっています。つまりモンゴルではコンピュータがなかった時代から、IT産業が成立していたのです。情報を収集しながらそれを



人間文化研究機構理事

小長谷有紀

成果に結びつける、それはある意味では商社や銀行などの業務と似ているかもしれません」

個人個人が競い合う社会だけに、適応能力の高さも際立っている。相撲やレスリングなど個人プレーのスポーツ競技における強さも、その背景を知らば納得できるもの。「必ずしもモンゴルを好きにならなくてもいい。ただモンゴルという近くて遠い国を通して、気づくことがあるはずです。私もモンゴル研究を進めていく中で(和を以て貴しとなす)とする日本人の美徳を実感しました。新たな視点を持つことは、自分自身を見つめ直すきっかけでもある。講座を通してそんな出会いを見つけてほしいと思っています」



あなたの世界が広がる 注目の新講座を徹底紹介!!

2015年4月からスタートする第35期KEIBUN文化講座の受講生の募集が11月から始まります。草津会場、長浜会場の人気のレギュラー講座に加え、大津会場で開催する2つの新講座に注目!!
今まで知っていそうで知らなかったテーマに、早くも胸がときめきます。

第35期
【春期】
2015年4月
開講



「日」 本らしい都市として必ず筆頭に上がるのは京都ですが、良い意味でそれは特例ではないでしょう。

私たちの暮らしの中で、より今の日本を表しているまちは、近江八幡や金沢、郡上八幡、さらに誤解を恐れずにいえば、名古屋ではないかと思うのですよ」と語るのは、同志社大学教授の井口貢さん。『暮らしのなかに息づく文化を再発見』をテーマに、来年4月からスタートする新講座を担当する。各回のタイトルには柳田國男と長浜市、三島由紀夫の『潮騒』と米原市など意外な組み合わせが

並び、どのような接点があるのか興味を惹かれる。

「確かに文芸作品は作家が生み出したフィクションかもしれない。でもそこには必ず歴史的、文化的、社会的な背景がある。文豪たちの名作を通して、歴史について、文化について、日本らしさや地域性について、今まで気付かなかった視点から考えてみることで、遠くはなれた地域でも類似点が見つかることもある。逆に近くでも意外な差異の大きさに驚きを感じることもあるでしょう。作家たちの視点を通して、多くの発見と出会う

ていただきたいですね」

サブタイトルには「まちづくり」と「まちつむぎ」のことばがある。1960年代、高度成長期の好景気に沸いていた日本各地で、行われてきた「まちづくり」に対して、「まちつむぎ」は耳慣れないことばである。そこには井口さんの思いが込められている。

「まちつむぎ」は、縦糸のようにまちをベースに、新たに横糸をいれて織り上げるような活動のことです。そのまちに住まう人たちが、そこに息づく歴史、文化を踏まえた上で、自分たちで新たに魅力を発見し、そして発信していく。まちを舞台に、新たなタペストリーを紡いでいく作業、それが「まちつむぎ」ではないかと考えます。今回の講座は文芸作品を用いながら「まちつむぎ」の思いを込めて進めていきたいと思っています。一緒に「ご自身の中にあるアイデンティティ」と「まち」という現実をつむいでみませんか」と井口さん。ただ住むだけではなく、まちと共に生きることについて考えてみる機会にもなるのではないだろうか。

大津会場 35-01 **暮らしのなかに息づく文化を再発見～「まちづくり」から「まちつむぎ」へ～**
講師／同志社大学政策学部教授 井口 貢

●講座内容 各10:30～12:00

- 4月10日(金) 柳田國男と「椰子の実」…伊良湖畔と神島、「富田人形」
- 4月24日(金) 三島由紀夫と『潮騒』…漁村の暮らし、神島と米原市磯
- 5月15日(金) 司馬遼太郎と『街道をゆく』…淡海と濃尾・参州
- 5月29日(金) 井上靖と『星と祭』『北の海』…湖北から金沢へ
- 6月 5日(金) 白洲正子と『近江山河抄』…文化の楽屋裏をつむぐ
- 6月19日(金) まちの「光」をじっくり「観」つめてみませんか

井口 貢(いくちみつぐ)

1956年米原市生まれ。79年滋賀大学経済学部卒業、82年同大学院経済学研究科修了。岡崎女子短期大学、岐阜女子大学、京都橘女子大学を経て、2007年より同志社大学政策学部・総合政策科学研究科教授。主な著書に「くらしのなかの文化・芸術・観光」(法律文化社)「入門 文化政策」(ミネルヴァ書房)「観光文化と地元学」(古今書院)「まちづくり・観光と地域文化の創造」(学文社)など。



大津会場 35-02 **モンゴル遊牧文化いまむかし**
講師／大学共同利用機関法人人間文化研究機構理事 小長谷有紀

●講座内容 各13:30～15:00

- 4月10日(金) 遊牧の合理性
- 4月24日(金) 乳を食べる文化の誕生
- 5月15日(金) 去勢畜のもとつ文化的意味
- 5月29日(金) 屠殺儀礼から世界観を読み解く
- 6月 5日(金) 社会主義のもとでの近代的変容
- 6月19日(金) ポスト社会主義時代の変容

小長谷有紀(こながや・ゆき)

1957年大阪府生まれ。81年京都大学文学部卒業。86年同大学院文学研究科博士課程満期修了。京都大学助手、国立民族学博物館助手、同教授を経て、2014年より現職。専攻は文化人類学。2013年春の紫綬褒章受章。主な著書に『人類学者は草原に育つー変貌するモンゴルとともに』(臨川書房)『ウメサオタダオと出会う 文明学者・梅棹忠夫入門』(小学館)など。



KEIBUN文化講座

期間/2015年4月～7月

第35期【春期】2015年4月開講 受講生募集開始!

11月12日(水)KEIBUN友の会受付開始 11月19日(水)一般受付開始

各講座
10名様

初回1回のみ(無料)
お試し受講OK
詳しくは事務局まで
お問い合わせ
ください

大津会場(旧大津公会堂)

35-01 暮らしのなかに息づく文化を再発見 ～「まちづくり」から「まちつむぎ」へ～

同志社大学政策学部教授 井口 真

新講座

文芸作品などを手がかりに人々の暮らしによって紡がれてきた文化を考察。講師のフィールド経験を重ね併せ、「まちつむぎ」を考えます。

開講日

4月10日(金) 4月24日(金)
5月15日(金) 5月29日(金)
6月 5日(金) 6月19日(金)

各10:30～12:00

35-02 モンゴル遊牧文化いまむかし

人間文化研究機構理事 小長谷有紀

新講座

モンゴル人と日本人、容姿は似ていますが、国民性はまったく別。遊牧の暮らしとその近代化を学び、速くモンゴル高原に思いを馳せます。

開講日

4月10日(金) 4月24日(金)
5月15日(金) 5月29日(金)
6月 5日(金) 6月19日(金)

各13:30～15:00

草津会場(しがぎん草津ビル)

※西山厚先生の「奈良時代への旅」は日程調整中です。

35-03 源氏物語のことばと心

京都橘大学教授 福嶋昭治

『源氏物語』は、現代の私たちにも十分通じる「心」が適切な「ことば」で表現されています。物語の流れを追いつつ、「ことば」と「心」を味わいましょう。

開講日

4月 7日(火) 4月28日(火)
5月12日(火) 5月26日(火)
6月 9日(火) 6月23日(火)

各10:30～12:00

35-04 日めくり万葉集入門

高岡市万葉歴史館館長 坂本信幸

NHK「日めくり万葉集」に採り上げられた歌を、平易な解説で読んでゆきます。初心者でも楽しむことができる講座です。

開講日

4月13日(月) 4月27日(月)
5月11日(月) 5月25日(月)
6月 8日(月) 6月22日(月)

各14:00～15:30
※現地学習1回含む

35-05 文学を通してみる近江の風景

旅行作家 西本柳枝

「近江」と関わりのある文学作品をきっかけに作家や作品をひもとく、さらに近江の魅力ある風景、風土を再認識します。

開講日

4月 7日(火) 4月21日(火)
5月12日(火) 6月 2日(火)
6月 9日(火) 6月23日(火)

各13:30～15:00
※現地学習1回含む

35-06 藤原仲麻呂の乱と近江

滋賀大学名誉教授 小笠原好彦

奈良時代、藤原仲麻呂は近江と深い関連をもって政権を掌握したが、政争に敗れて挙兵。この仲麻呂の乱を考古学から考えます。

開講日

4月 8日(水) 4月15日(水)
5月13日(水) 5月27日(水)
6月10日(水) 6月17日(水)

各13:30～15:00
※現地学習1回含む

35-07 歴史にみるイスラム拡大の礎 「基本的な教義」

京都外国語大学教授 堀川 徹

アラビア半島の片隅に生まれたイスラムがなぜ世界に広まっていったのか。イスラムの基本的な教義に焦点を当て、歴史の流れに沿って考えます。

開講日

4月10日(金) 4月24日(金)
5月 1日(金) 5月22日(金)
6月12日(金) 6月26日(金)

各10:30～12:00

35-08 成安造形大学提携講座 西洋美術史入門

成安造形大学教授 千速敏男

世界の代表的な美術館が所蔵する作品を中心に西洋美術史をたどりま。また、名品をもつ小さな美術館にも「訪れて」みましょう。

開講日

4月 8日(水) 4月15日(水)
5月13日(水) 6月10日(水)
6月17日(水) 7月 8日(水)

各10:30～12:00

35-09 名作オペラ 近年話題の舞台から

大阪音楽大学客員教授・音楽評論家 日下部吉彦

オペラの魅力を楽しみ解説し、より身近な世界に案内する人気シリーズ!! 今期は近年話題となった名作オペラの舞台をご紹介します。

開講日

4月14日(火) 4月28日(火)
5月19日(火) 5月26日(火)
6月16日(火) 6月30日(火)

各14:00～15:30

35-10 『音楽の招待席』 ～天才たちの奇蹟にせまる120分!～

作家・音楽評論家 響 敏也

200年間に50人の音楽家を輩出した「パツハー」族。なかでも最大最高の音楽家が「音楽の父」=J.S.バッハ。その65年の生涯と不滅の作品群を探究します。

開講日

4月16日(木) 5月 7日(木)
5月21日(木) 6月 4日(木)
6月18日(木) 未定

各13:30～15:30
※現地学習1回含む

35-11 写らないものを感じさせる写真

写真家 西岡伸太

風、温度、匂い、物の裏など、写真では写らないモチーフでも感じさせることが可能です。単写真、組写真で探求します。

開講日

4月 9日(木) 4月23日(木)
5月14日(木) 5月28日(木)
6月11日(木) 6月25日(木)

各13:30～15:00
※現地学習2回含む

35-12 花と緑のふしぎ

甲南大学理工学部教授 田中 修

講座内容は、
平成26年春期
講座(大津会場)
と重複します。

身近な草花や樹木、野菜や果物たちが秘めている「しくみ」や「パワー」などの「すごい」世界へいざ参ります。

開講日

4月 3日(金) 4月17日(金)
5月 8日(金) 5月29日(金)
6月 5日(金) 6月19日(金)

各10:30～12:00

35-13 初めての日本画 入門編

日本画家 清水 豊

日本画特有の素材、技法が、初心者の方にもわかりやすく学べる講座です。写生を通してモチーフを観察し、麻紙ボードに着色して描いていきます。

開講日

4月22日(水) 5月20日(水)
6月 3日(水) 6月24日(水)
7月 1日(水) 7月15日(水)

各10:00～12:30

35-14 日本画を楽しむ 上達編

日本画家 清水 豊

日本画特有の素材や技法がわかりやすく学べる経験者コースです。10号くらいまでのサイズで、自由に設定して描いていきます。

開講日

4月22日(水) 5月20日(水)
6月 3日(水) 6月24日(水)
7月 1日(水) 7月15日(水)

各13:30～16:00

長浜会場(長浜市曳山博物館)

35-15 城が語る日本の歴史

滋賀県立大学教授 中井 均

城を構成する重要な施設として石垣があります。今期はこの石垣がいかに発生し、展開したかを、最新の発掘成果を交えて紹介します。

開講日

4月17日(金) 5月 8日(金)
5月22日(金) 6月 5日(金)
6月19日(金) 7月 3日(金)

各10:30～12:00
※現地学習1回含む

35-16 江戸時代の街道・町文化を探访

京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授 水本邦彦

江戸時代、近江は日本海と伊勢湾、東と西を結び結節点として、物の輸送や人の往来で賑わっていました。長浜を中心に当時の近江の町や街道を眺めます。

新講座

開講日

4月17日(金) 5月 8日(金)
5月22日(金) 6月12日(金)
6月19日(金) 7月 3日(金)

各13:30～15:00

※講師の都合で講座日程が変更になる場合があります。ご了承ください。

特別文化講座

34-19 〈初心者向〉撮ることを好きになる写真教室 ～心の写真家になろう～

●講師/田口葉子(日本写真協会会員) ●会場/しがぎん草津ビル ●平成27年3月5日(木)・12日(木)・19日(木)各13:00～15:00 ●受講料 6,480円(税込)

●受講料/1講座全6回で 10,800円(税込。入会金不要) ※現地学習には別途参加費が必要です。※「初めての日本画」「日本画を楽しむ」は画材費(約10,000円)別途必要。

●特典/滋賀銀行年金受給者の方は受講料金が9,800円となります。また、KEIBUN友の会会員の方は、「3,000円相当の割引」がご利用いただけます。ただし、各割引の併用はできません。

※原則、定員50名になりしだい締め切ります。お早めにお申し込みください。※講師の都合で講座内容、日程が変更になる場合があります。ご了承ください。※お申し込みは電話、もしくは24ページに添付の専用申込書を郵送かFAXでお送りください。「なっとも」会員の方は、ホームページからもお申し込みいただけます。

受講申込受付 しがぎん経済文化センター文化講座事務局 TEL.077(526)0011